

令和元年度 第9回県政モニターアンケート調査結果

農政課かごしまの食ブランド推進室(099-286-3179)

- テーマ 「県産農畜産物の購入動向」について
- 調査の目的 県産農畜産物の今後のPR対策などの参考とする。
- 調査時期 令和元年11月
- 調査対象者 200人
- 回答者数 157人(79%)

問1 日頃、県産の農畜産物を購入しますか。

項目	回答数	割合
よく購入する	92	59%
毎回ではないが購入する	58	37%
ほとんど購入しない	7	4%

【コメント】

県産の農畜産物を日頃から購入する方は、全体の9割を超えています。

問2 購入する県産農畜産物の種類は何ですか。(頻度の高いものを2つ選択)

項目	回答数	割合
野菜や果物などの青果物	116	77.9%
豚肉や牛肉などの畜産物	109	73.2%
お茶	37	24.8%
米	29	19.5%

【コメント】

県産の農畜産物で購入頻度の高い種類は、「野菜や果物などの青果物」や「豚肉や牛肉などの畜産物」の割合が高く、「お茶」や「米」が低い傾向にあります。

【回答者数:149人】

問3 県産農畜産物を購入する際どこで購入しますか。購入頻度の高い順に番号を記入してください。

購入先	回答数	割合	購入頻度の高い順に番号を記入					
			1位	2位	3位	4位	5位	6位
スーパーなど量販店	144	100%	77%	19%	3%	0%	0%	0%
直売所	137	95%	20%	66%	9%	0%	4%	1%
フェアなどのイベント	117	81%	2%	5%	68%	21%	4%	0%
コンビニエンスストア	100	65%	0%	4%	11%	33%	31%	21%
通信販売	93	69%	1%	9%	8%	23%	38%	23%
その他	93	65%	3%	2%	5%	24%	17%	48%

【コメント】

県産農畜産物の購入先として最も多いのは「スーパーなどの量販店」で、次いで「直売所」、「フェアなどのイベント」の順となっています。

【回答者数:144人】

問4 県産農畜産物を購入しない主な理由は何ですか。

項目	回答数	割合
産地等にあまり関心がない	3	42.9%
購入したいが見かけない	2	28.6%
好きな産地等が別にある	0	0.0%
味や品質、価格等に魅力がない	0	0.0%
その他	2	28.6%

【コメント】

県産農畜産物をほとんど購入しない方の主な理由については、約7割が「産地等に興味がない」、「購入したいが見かけない」でした。

なお、「好きな産地等が別にある」、「味や品質、価格等に魅力がない」への回答はありませんでした。

【回答者数:7人】

問5 農畜産物を購入するときの判断基準は何ですか。(複数回答)

項目	回答数	割合
鮮度が良い	126	80.3%
国産品である(輸入品でない)	125	79.6%
安心・安全である	112	71.3%
地元産である	106	67.5%
味が良い	89	56.7%
値頃感がある	75	47.8%
産地や生産者の情報が表示されている	73	46.5%
品種・栽培方法にこだわっている	35	22.3%
見た目(色、形、デザイン等)が良い	35	22.3%
ブランド・有名産地である	26	16.6%
その他	1	0.6%

【コメント】

農産物を購入する際の判断基準については、「鮮度が良い」、「国産品である(輸入品でない)」、が約8割で、次いで「安心・安全である」、「地元産である」、「味が良い」の順でした。

【回答者数:157人】

問6 このマークを知っていますか。

項目	回答数	割合
はい	96	62%
いいえ	58	38%

【コメント】

「かごしまブランドマーク」を知っている方は、全体の約6割となっています。

【回答者数:154人】



問7 かごしまブランド産品に対するイメージで、当てはまるものを選んでください。(複数回答)

項目	回答数	割合
安心・安全	132	85.7%
味が良い	101	65.6%
値頃感がある	54	35.1%
高級	31	20.1%
品質が良くない	3	1.9%
味が良くない	0	0.0%
よく知らない	9	5.8%
その他	3	1.9%

【コメント】

かごしまブランド産品に対するイメージについては、「安心・安全」が8割を超え、次いで「味が良い」、「値頃感がある」、「高級」という結果となりました。

【回答者数:154人】

問8 かがしまブランド産品で、最も多く購入するものは何ですか。(3品を自由回答)

品目	回答数	割合
黒豚	88	64.2%
さつまいも	43	31.4%
茶	39	28.5%
黒牛	38	27.7%
ピーマン	34	24.8%
地鶏	31	22.6%
きゅうり	21	15.3%
ばれいしょ	11	8.0%
かぼちゃ	10	7.3%
ごぼう	9	6.6%
たんかん	9	6.6%
そらまめ	7	5.1%
みかん	6	4.4%
米	6	4.4%
マンゴー	4	2.9%

【コメント】

かがしまブランド産品で最も多く購入するものの上位5は、「黒豚」、「さつまいも」、「茶」、「黒牛」、「ピーマン」という結果になりました。

【回答者数:137人】

※回答数上位15位以上の品目のみ掲載

問9 今後、かがしまブランドになってほしい品目について、当てはまるものを3つ選んでください。
なお、「その他」の場合は、具体的に記入してください。(3品を自由回答)

品目	回答数	割合
オクラ	89	58.2%
スナップえんどう	54	35.3%
にがうり	51	33.3%
いちご	37	24.2%
トマト	31	20.3%
ブロッコリー	24	15.7%
ミニトマト	22	14.4%
辺塚だいたい	22	14.4%
だいこん	21	13.7%
さといも	20	13.1%
根深ねぎ	19	12.4%
キャベツ	17	11.1%
青パパイヤ	14	9.2%
にんじん	13	8.5%
さやえんどう	11	7.2%
はくさい	12	7.8%
はくさい	12	7.8%
さやいんげん	10	6.5%
なす	10	6.5%
グラジオラス	4	2.6%
ソリダゴ	4	2.6%
その他	9	5.9%

【コメント】

今後、かがしまブランドになってほしい品目については、約6割の方が「オクラ」を希望しており、次いで、「スナップえんどう」、「にがうり」などといった結果となりました。

なお、「いちご」については、令和元年10月に「かがしまブランド団体」を新たに認定したところ です。

【回答者数:153人】

その他の品目

しょうが, にんにく, 桜島だいこん, ぼんかん, 隼人瓜, 落花生, コーヒー, モリンガ

問10 かがしまブランド産品を、より多くの消費者等に「知って」「選んで」「購入してもらう」ために、県はどのような取組が必要だと思いますか。(自由回答)

- 「地産地消」「かがしまブランド産品」をうたったイベント等で安心・安全・おいしいPRの試食販売会でより多くの皆様に知ってもらうことが良いと思います。
- インフルエンサーに紹介。ネット情報発信の工夫。料理との組み合わせをアピール
- CMやテレビ番組(全国)などでPR。JRなど旅行客が来るところで無料で配る、料理コンテストなど
- SNS等を活用して若い世代に知ってもらう。小さい子供向けのイベントなどと抱き合わせてPR、料理方法なども一緒に提供する。(ユナイテッドの試合等でも出店する)
- 直売所の設置を増やす。ネット販売拡充
- かがしまブランドがどのような基準をクリアしているのか明確にわかりやすく伝える工夫
- カタログやネットで選べてプライス定額コースで宅配してもらえとうれしいです。
- かがしまブランドの商品にシール等(QRコード)などつけて、集めた数に応じてかがしまブランド産品と交換できると相乗効果がある。
- スーパー等でかがしまブランド産品を扱うコーナーがあれば良いと思います。
- クレジットカードなどのポイント交換にブランド産品を依頼する。
- 県内の身近なスーパーでもブランド産品だとわかる商品を買えるようになればと思う。
- ブランド力のアップ・強化。地産地消のアップ(給食時の使用)。県庁内に四季ごとにブランド産品の展示PRを行う。
- マルヤガーデンの地下で料理教室をして欲しい。廉価で参加できるようにして欲しい。
- 安心して安定した購入しやすい価格で提供できるように。安い値段で売る。
- 海外での認知と販路拡大。官民一体の連携強化。大手企業とコラボしたレシピ・商品の開発
- 健康問題と野菜をかみ合わせたら関心が出てくる。機能性のPR
- 県外の小中学校の給食にも提供する。公募型無料バスツアー等の取組
- 県産の旬の食材を使った簡単レシピの紹介。3分間クッキング(ロケ地は地元の食堂やレストラン)を放映する。
- ブランド品目を揃えた展示即売会を開催。ブランド品を使ったレシピの無料配付(街頭・新聞折り込み)
- 市場やマルシェといったイベントでのブース出展。食に関心のある人たちが集まる場でのPRには大きな効果が期待できると思います。
- 市町村の広報誌を大いに活用しPRする。
- 若い人向けのフリマやカフェとのコラボ。若者向けの地産地消にこだわったレストラン
- 食の安心・安全は当然のこと。安くてうまいものがかがしまブランドになればいい。
- 生産者団体との連携強化。生産者の活動実態の把握。消費者等に対する広報活動の強化。関係自治体との連携強化。全国への情報発信。
- 他県と比較すると鹿児島産のブランドは認知されていると思う。これからの市場は中国のため知事をトップセールスとして売り込んではどうか。
- 地域農家の方々と購買客との交流を推進する機会を設ける。効果的なブランド品名と取扱店等のPRをいかにして主婦に関心をもってもらうか。値段の課題もあるが、健康・経済発展への繋がり強化をPR
- 中央駅前広場でのかがしまブランド産品フェア。生協などで販売
- 大型店での宣伝や施設にポスターを掲示。電車の中吊り広告等を活用
- 農家の取組などを広く紹介する機会を多く設ける。
- 野菜を中心に健康志向の食材をブランド化してほしい。
- 料理番組等で使用してもらい宣伝。県出身のタレントにPR